

日本共産党品川区議会議員

**菊地貞二**

週刊区政ニュース第346号

07年10月14日発行

区民の願い次々と・・・

# 小池晃さんと語ろう新しい日本の政治



10月8日、小池晃参議院議員が参加しての区政報告会を開催しました。  
参加してくださった50名のみなさんから「どうすれば政治を変えることが出来るのか」と数々の要望と疑問が出されました。

小池く苦しみを強いる背景には大企業いなりとアメリカ力依存の病があると指摘



としています。

国民生活を苦難の道に陥れた構造改革路線を基本的に継承していくという福田新政権では、雇用や社会保障、増税と憲法改悪の流れは変わりません。

格差と貧困の流れが区民生活に暗い影を落しました。  
名のみなさんがそれぞれの立場で意見を述べました。

青年く「将来が見えない」

歯科衛生士として働く青年から「友人には

不安定雇用が多い。常勤でも給与収入が低くアパートを借りて自立することも不可能。こんな実体を変えることが出来るのか」と質問がありました。

福田首相は「若者が明日への希望がもてる国づくりを目指す」と表明しましたが本当でしょうか。

小池晃さんは、労働法制を改悪し規制緩和を推し進めたことその根源があると指摘。民主党も賛成して改悪された規制緩和路線を切り替え、働く人を大



切にする政治を目指して全力をあげると表明しました。

また、介護保険法の改悪によって生まれた利用者の実態と介護労働者の現場実体も出されました。

10月7日付けの赤旗日曜版にも掲載された介護に従事する労働者の実体は劣悪です。品川の高齢者施設に勤める労働者の基本給は二万円にも満たない方が大勢を占めます。これではくらしでいけないと介護現場を離れてい

く方はあとをたちません。現在では品川区の介護福祉士を養成する学校も定員割れ。社会保障構造改革のしわ寄せが根源にあることは

共同の力でくらしを守りましょう

雇用の質問だけではなく、教育問題や清掃工場での廃プラ焼却、政党助成金問題、築地市場の移転、郵政労働者から現場の実体など多岐に渡る発言がありました。

参加者からは「いつも話を聞く時間が多くて要望を述べるのがなかなか出来なかった。今日の集いのような取り組みをこれからもやってほしい」「個

言つまでもありません。この路線を転換しない限りは介護の現場を担う労働者は皆無になることは火を見るより明らかです。

別の問題もあるがもつと突っ込んだ話があった。若者や高齢者だけではなく現役で働いている自分も将来が見えない」などの感想が寄せられました。

参加できなかったみなさんの声もぜひお寄せください。



## 無料法律相談会 (生活相談は随時)

ところ すずらん通り事務所

日時 10月11日(木)

午後6時～8時



前田まゆみ TEL 0742-000100 まゆみの電話相談ところ。